

教科名 科目名		単位数	年次・コース	選択群	教科書・出版社名	副教材・出版社名
地理歴史	地理総合	2	1年 普通科 プログレッシブ	必修	高等学校 新地理総合 (帝国書院) 新詳高等地図 (帝国書院)	サクシード地理 (啓隆社) 新詳地理資料COMPLETE (帝国書院)

学習目標	<p>・地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、人間と自然環境との関係や作用を多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて、考察、構想したことを効果的に説明したり、議論する力を養う。</p> <p>・国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするこの大切についての自覚などを深める。</p>
評価の観点 評価規準	<p>「知識・技能」 教科書の内容を理解している、その背景にある文化を明確に読み取っている。 教科書や資料集等から情報を正確に読み取ろうとしている。</p>
	<p>「思考・判断・表現」 教科書や資料を通して、自分の考えや意見をまとめている。</p>
	<p>「主体的に学習に取り組む態度」 積極的に授業に参加しようとしている。 科目に対して、自学自習などを行おうとしている。 グループ学習等に進んで取り組もうとしている。</p>
評価の方法	<p>「知識・技能」 定期考査や小テスト等で適確に理解しているかを評価する。</p>
	<p>「思考・判断・表現」 グループ学習やディベートを通して自分の考え・意見を的確に表現することができているかを評価する。</p>
	<p>「主体的に学習に取り組む態度」 定期考査・小テスト・授業の質問・グループ学習の取り組み方を総合的に評価する。</p>

学期	学習計画および内容
1 学期	<p>第1部 「地図でとらえる現代世界」 第1章 地図と地理情報システム 第2章 結び付きを深める現代世界</p> <p>地図や地理情報システムなどを用いて、情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身につけ、世界の生活文化や地球的諸課題について、地域の結びつきや持続可能な社会づくり、世界的視野から見た国家間の結びつきなどを多面的・多角的に考察し表現する力を身につける。</p>
2 学期	<p>第2部 「国際理解と国際協力」 第1章 生活文化の多様性と国際理解 第2章 地球的課題と国際協力</p> <p>現代世界の構成について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追求、解決しようとする態度や力を身につける。</p>
3 学期	<p>第3部 「持続可能な地域づくりと私たち」 第1章 自然環境と防災 第2章 生活圏の調査と地域の展望</p> <p>自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに、地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解し、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し表現する力を身につける。</p>
備考 ・履修条件 ・注意事項 等	<p>・地理は、理解を深めるために時事問題を知っている必要があります。ニュースや新聞で今社会でおこっていることを常におさえるようにしてください。作業を行うので、色ペンが必要となる場合があります。</p> <p>・3年生の選択「地理探究」では、この講座の発展的な内容を扱います。</p>

教科名 科目名		単位数	年次・コース	選択群	教科書・出版社名	副教材・出版社名
地理歴史	歴史総合	2	1年 普通科	必履修	歴史総合近代から現代へ (山川出版社)	新詳歴史総合(浜島書店) 歴史総合近代から現代へ ノート(山川出版社)

学習目標	<p>・近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とそれの中の日本を広く相互的な視野からとらえ、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。</p> <p>・近現代の歴史の変化に関わる諸事情について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多角的な考察や深い理解を通して養われる日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>
評価の観点 評価規準	<p>「知識・技能」 教科書などの諸資料の内容を理解している。</p>
	<p>「思考・判断・表現」 教科書や資料を通して、自分の考えや意見をまとめている。</p>
	<p>「主体的に学習に取り組む態度」 知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身につけたりすることに向けた粘り強い取組を行おうとしており、自らの学習を調整しようとしている。</p>
評価の方法	<p>「知識・技能」 定期考査や小テスト等的確に理解しているかを評価する。</p>
	<p>「思考・判断・表現」 グループ学習やディベートを通して自分の考え・意見を的確に表現することができるかを評価する。</p>
	<p>「主体的に学習に取り組む態度」 定期考査・小テスト・授業の質問・グループ学習の取り組み方を総合的に評価する。</p>

学期	学習計画および内容
1 学期	<p>「歴史の扉」</p> <p>・学習を始めるにあたり、私たちの身近にあるものに世界の歴史との関わりがあることに気付く。</p> <p>・複数の資料を読み解き、歴史を多面的・多角的に考察することの重要性に気付く。</p> <p>第1章 近代化と私たち</p> <p>・近代までの歴史の流れを説明し、近代になるまでに社会構造がどのように変化したのかを考察する。</p> <p>第2章 国際秩序の変化や大衆化と私たち</p> <p>1 第一次世界大戦と大衆社会 ①～⑤</p> <p>・第一次世界大戦によって世界が変化した点、また変化しなかった点を理解する。</p> <p>・第一次世界大戦によって日本が国際社会でどのような立ち位置になったのかを考察する。</p>
2 学期	<p>第2章 国際秩序の変化や大衆化と私たち</p> <p>今までの歴史とは違い、個人が集団や社会との関わりにより社会全体の規定の在り方を決めることができるようになったことを理解する。</p> <p>1 第一次世界大戦とその後の世界 ⑥～2 経済危機と第二次世界大戦 ⑤</p> <p>・第一次世界大戦の戦後処理により第二次世界大戦が起こったのかを理解する。</p> <p>・第二次世界大戦が現代の世界にどのような影響を与えたのかを考察する。</p> <p>第2章 国際秩序の変化や大衆化と私たち 2 経済危機と第二次世界大戦 ⑥～</p> <p>第3章 グローバル化と私たち 1 冷戦と脱植民地化・第三世界の台頭</p> <p>・第二次世界大戦後に世界がどのようになったのかを理解する。</p> <p>・冷戦が現在の世界にどのような影響を与えたのかを考察する。</p>
3 学期	<p>第3章 グローバル化と私たち 2 世界秩序の変容と日本人</p> <p>・モノ・カネ・情報等が国境を越えて一層流動するようになったことで、この社会を持続可能にするにはどのようにしたらよいかを理解する。</p> <p>・現代の諸問題の原因を理解する。</p> <p>・世界の諸問題についてディベートさせて、それぞれの立場を理解する。</p>

備考 ・履修条件 ・注意事項 等	近代以降の歴史を現代社会との関わりを中心に学習する。教科書・ノート・プリントを毎時間忘れずに準備すること。
------------------------	---

教科名 科目名		単位数	年次・コース	選択群	教科書・出版社名	副教材・出版社名
地理歴史	地理総合	2	1年 普通科 スタンダード	必修	高等学校 新地理総合 (帝国書院) 新詳高等地図 (帝国書院)	高等学校新地理総合ノ ート (帝国書院)

学習目標	<p>・地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、人間と自然環境との関係や作用を多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて、考察、構想したことを効果的に説明したり、議論する力を養う。</p> <p>・国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするこの大切についての自覚などを深める。</p>
評価の観点 評価規準	<p>「知識・技能」 教科書の内容を理解している。その背景にある文化を明確に読み取っている。 教科書や資料集等から情報を正確に読み取ろうとしている。</p>
	<p>「思考・判断・表現」 教科書や資料を通して、自分の考えや意見をまとめている。</p>
	<p>「主体的に学習に取り組む態度」 積極的に授業に参加しようとしている。 科目に対して、自学自習などを行おうとしている。 グループ学習等に進んで取り組もうとしている。</p>
評価の方法	<p>「知識・技能」 定期考査や小テスト等で適確に理解しているかを評価する。</p>
	<p>「思考・判断・表現」 グループ学習やディベートを通して自分の考え・意見を的確に表現することができているかを評価する。</p>
	<p>「主体的に学習に取り組む態度」 定期考査・小テスト・授業の質問・グループ学習の取り組み方を総合的に評価する。</p>

学期	学習計画および内容
1 学期	<p>第1部 「地図でとらえる現代世界」 第1章 地図と地理情報システム 第2章 結び付きを深める現代世界</p> <p>地図や地理情報システムなどを用いて、情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身につけ、世界の生活文化や地球的諸課題について、地域の結びつきや持続可能な社会づくり、世界的視野から見た国家間の結びつきなどを多面的多角的に考察し表現する力を身につける。</p>
2 学期	<p>第2部 「国際理解と国際協力」 第1章 生活文化の多様性と国際理解 第2章 地球的課題と国際協力</p> <p>現代世界の構成について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追求、解決しようとする態度や力を身につける。</p>
3 学期	<p>第3部 「持続可能な地域づくりと私たち」 第1章 自然環境と防災 第2章 生活圏の調査と地域の展望</p> <p>自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに、地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解し、自然災害への備えや対応などを多目的・多角的に考察し表現する力を身につける。</p>

備考 ・履修条件 ・注意事項 等	<p>・地理は、理解を深めるために時事問題を知っている必要があります。ニュースや新聞で今社会でおこっていることを常におさえるようにしてください。作業を行うので、色ペンが必要となる場合があります。</p> <p>・3年生の選択「地理探究」では、この講座の発展的な内容を扱います。</p>
---------------------------	--

教科名 科目名		単位数	年次・コース	選択群	教科書・出版社名	副教材・出版社名
地理歴史	地理総合	2	1年 情報ビジネス科 システム工学科	必修	高等学校 新地理総合 (帝国書院) 新詳高等地図 (帝国書院)	高等学校新地理総合ノ ー ト (帝国書院)

学習目標	<p>・地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、人間と自然環境との関係や作用を多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて、考察、構想したことを効果的に説明したり、議論する力を養う。</p> <p>・国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするこの大切についての自覚などを深める。</p>
評価の観点 評価規準	<p>「知識・技能」 教科書の内容を理解している。その背景にある文化を明確に読み取っている。 教科書や資料集等から情報を正確に読み取っている。</p>
	<p>「思考・判断・表現」 教科書や資料を通して、自分の考えや意見をまとめている。</p>
	<p>「主体的に学習に取り組む態度」 積極的に授業に参加しようとしている。 科目に対して、自学自習などを行おうとしている。 グループ学習等に進んで取り組もうとしている。</p>
評価の方法	<p>「知識・技能」 定期考査や小テスト等で適確に理解しているかを評価する。</p>
	<p>「思考・判断・表現」 グループ学習やディベートを通して自分の考え・意見を的確に表現することができているかを評価する。</p>
	<p>「主体的に学習に取り組む態度」 定期考査・小テスト・授業の質問・グループ学習の取り組み方を総合的に評価する。</p>

学期	学習計画および内容
1 学期	<p>第1部 「地図でとらえる現代世界」 第1章 地図と地理情報システム 第2章 結び付きを深める現代世界</p> <p>地図や地理情報システムなどを用いて、情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身につけ、世界の生活文化や地球的諸課題について、地域の結びつきや持続可能な社会づくり、世界的視野から見た国家間の結びつきなどを多面的多角的に考察し表現する力を身につける。</p>
2 学期	<p>第2部 「国際理解と国際協力」 第1章 生活文化の多様性と国際理解 第2章 地球的課題と国際協力</p> <p>現代世界の構成について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追求、解決しようとする態度や力を身につける。</p>
3 学期	<p>第3部 「持続可能な地域づくりと私たち」 第1章 自然環境と防災 第2章 生活圏の調査と地域の展望</p> <p>自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに、地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解し、自然災害への備えや対応などを多目的・多角的に考察し表現する力を身につける。</p>

備考 ・履修条件 ・注意事項 等	<p>・地理は、理解を深めるために時事問題を知っている必要があります。ニュースや新聞で今社会でおこっていることを常におさえるようにしてください。作業を行うので、色ペンが必要となる場合があります。</p>
---------------------------	---

教科名 科目名		単位数	年次・コース	選択群	教科書・出版社名	副教材・出版社名
地理歴史	日本史探究	3	2年次 普通科 プログレッシブ	文理Ⅱ	詳説日本史 (山川出版)	新詳日本史(共済書店) ウィニングコンパス日本 史の整理と演習(とうほ う)

学習目標	・生徒が社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。
評価の 観点・規準	「知識・技能」 教科書の内容を理解しているか、その背景にある文化を明確に読み取ろうとしている。 教科書や資料集等から情報を正確に読み取ろうとしている。
	「思考・判断・表現」 教科書や資料を通して、自分の考えや意見をまとめようとしている。
	「主体的に学習に取り組む態度」 積極的に授業に参加しようとしている。 科目に対して、自学自習などを行おうとしている。 グループ学習等に進んで取り組もうとしている。
評価の方法	「知識・技能」 定期考査や小テスト等で正確に理解しているかを評価する。
	「思考・判断・表現」 グループ学習やディベートを通して自分の考え・意見を的確に表現することができるかを評価する。
	「主体的に学習に取り組む態度」 定期考査・小テスト・授業の質問・グループ学習の取り組み方を総合的に評価する。

学期	学習計画および内容
1 学期	<p>第Ⅰ部 原始・古代</p> <p>第1章 日本文化のあけぼの ※研究として「歴史資料と原始・古代の展望」も並行する。</p> <p>第2章 古墳とヤマト政権 第3章 律令国家の形成 第4章 貴族政治の展開</p> <p>旧石器時代から平安時代までを扱い、原始社会の特色及び古代国家と社会や文化の特色について、歴史的資料に基づいて、東アジア世界の動向と関連付けて考察を深める。</p>
2 学期	<p>第Ⅱ部 中世</p> <p>第5章 院政と武士の躍進 ※「歴史資料と中世の展望」も並行する。</p> <p>第6章 武家政権の成立 第7章 武家社会の成長</p> <p>中世国家と社会や文化の特色について、歴史的事象の推移や変化を追いながら、東アジア世界の動向と関連付けて考察する。</p>
3 学期	<p>第Ⅲ部 近世</p> <p>第8章 近世の幕開け ※「歴史資料と近世の展望」も並行する。</p> <p>第9章 幕藩体制の成立と展開 第10章 幕藩体制の動揺</p> <p>近世国家と社会や文化の特色について、複数の歴史的な解釈があることを踏まえて、国際環境と関連付けて考察する。</p>
備考 ・履修条件 ・注意事項 等	<p>・第Ⅳ部以降については、3年次の「日本史探究」で行う予定です。</p> <p>・2年次に「日本史探究」を選択すると、3年次に「歴史探究β」を選択することはできません。</p>

教科名 科目名	単位数	年次・コース	選択群	教科書・出版社名	副教材・出版社名
地理歴史 世界史探究	3	2年次 普通科 プログレッシブ	文理Ⅱ	詳説世界史 (山川出版)	アガミア世界史(浜島書店) ウィニングコンパス世界史の整理と演習(とうほう)

学習目標	<p>・世界の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。</p> <p>・歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>
評価の 観点・規準	<p>「知識・技能」 教科書の内容を理解しているか、その背景にある文化を明確に読み取ろうとしている。 教科書や資料集等から情報を正確に読み取ろうとしている。</p>
	<p>「思考・判断・表現」 教科書や資料を通して、自分の考えや意見をまとめようとしている。</p>
	<p>「主体的に学習に取り組む態度」 積極的に授業に参加しようとしている。 科目に対して、自学自習などを行おうとしている。 グループ学習等に進んで取り組もうとしている。</p>
評価の方法	<p>「知識・技能」 定期検査や小テスト等で適確に理解しているかを評価する。</p>
	<p>「思考・判断・表現」 グループ学習やディベートを通して自分の考え・意見を的確に表現することができているかを評価する。</p>
	<p>「主体的に学習に取り組む態度」 定期検査・小テスト・授業の質問・グループ学習の取り組み方を総合的に評価する。</p>

学期	学習計画および内容
1 学期	<p>第Ⅰ部 諸地域の歴史的特質の形成 第1章 文明の成立と古代文明の特質 第2章 中央ユーラシアと東アジア世界 第3章 南アジア世界と東南アジア世界の展開</p> <p>原始社会の特色及び古代国家と社会や文化の特色について、歴史的資料に基づいて文明の形成過程を理解し、説明できるようになる。</p>
2 学期	<p>第Ⅱ部 諸地域の交流・再編 第4章 西アジアと地中海周辺の世界形成 第5章 イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成 第6章 ヨーロッパ世界の変容と展開</p> <p>中世国家と社会や文化の特色について、それぞれの文化圏がどのように独自の発展を行っていったのかを地理・民族・宗教など様々な側面から考察し、理解すると共に自分の考えを論述できるようになる。</p>
3 学期	<p>第Ⅱ部 諸地域の交流・再編 第7章 東アジア世界の展開とモンゴル帝国 第8章 大交易・大交流の時代</p> <p>アジア世界の発展の中にも起こる様々な国家形成について、それぞれの特徴や歴史的背景を知り、繋がりをおさえる。</p>

備考 ・履修条件 ・注意事項 等	<p>・第Ⅱ部の続き、及びⅢ部以降については、3年次の「歴史探究β」で行う予定である。</p> <p>・2年次に「世界史探究」を選択すると、3年次に「歴史探究α」を選択することはできない。</p>
---------------------------	--

教科名 科目名		単位数	年次・コース	選択群	教科書・出版社名	副教材・出版社名
公民	公共	2	2年 普通科	必修	詳述公共 (実教出版)	詳述公共演習ノート (実教出版) 最新図説公共 (浜島書店)

学習目標	<p>・現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。</p> <p>・現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。</p> <p>・よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。</p>
評価の観点 評価規準	<p>「知識・技能」 教科書の内容を理解しているか、その背景にある文化を明確に読み取ろうとしている。 教科書や資料集等から情報を正確に読み取ろうとしている。</p>
	<p>「思考・判断・表現」 教科書や資料を通して、自分の考えや意見を的確にまとめようとしている。</p>
	<p>「主体的に学習に取り組む態度」 積極的に授業に参加しようとしている。 科目に対して、自学自習などを行おうとしている。 グループ学習等に進んで取り組もうとしている。</p>
評価の方法	<p>「知識・技能」 定期考査や小テスト等で適確に理解しているかを評価する。</p>
	<p>「思考・判断・表現」 グループ学習やディベートを通して自分の考え・意見を的確に表現することができるかを評価する。</p>
	<p>「主体的に学習に取り組む態度」 定期考査・小テスト・授業の質問・グループ学習の取り組み方を総合的に評価する。</p>

学期	学習計画および内容
1 学期	<p>第1編 公共の扉 第1章 社会を作る私たち 第2章 人間としてよく生きる 第3章 民主社会の倫理 第4章 民主国家における基本原理</p> <p>地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることを学ぶとともに、古今東西の先人の取組、知恵などを踏まえ、社会に参画する際の選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論などや、公共的な空間における基本的原理を理解する。</p>
2 学期	<p>第2編 よりよい社会の形成に参加する私たち 第1章 日本国憲法の基本的性格 第2章 日本の政治機構と政治参加 第3章 現代の経済社会 第4章 経済活動のあり方と国民福祉</p> <p>自立した主体としてよりよい社会の形成に参画することに向けて、現実社会の諸課題に関わる具体的な主題を設定し、人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、他者と協働して主題を追究したり解決したりする学習活動を通して、人間としての在り方生き方についての理解を深めつつ、法、政治及び経済などに関わるシステムの下で活動するために必要な知識及び技能、思考力、判断力、表現力等を身に付ける。</p>
3 学期	<p>第2編 よりよい社会の形成に参加する私たち 第5章 国際政治の動向と課題 第6章 国際経済の動向と課題 第3編 持続可能な社会づくりの主体となる私たち</p> <p>持続可能な地域、国家・社会、及び国際社会づくりに向けた役割を担う、公共の精神をもった自立した主体となることに向けて、共に生きる社会を築くという観点から課題を見だし、社会的な見方・考え方を総合的に働かせ、現代の諸課題を探究する活動を通して、その課題の解決に向けて事実を基に協働して考察、構想し、妥当性や効果、実現可能性などを指標にして、論拠を基に自分の考えを説明、論述できるようにする。</p>
備考 ・履修条件 ・注意事項 等	<p>・公共は、理解を広げたり深めたりするために、時事問題を知っている必要があります。ニュースや新聞等で現実社会でおこっていることを常におさえるようにしてください。</p> <p>・3年次の選択「政治・経済」では、この講座の発展的な内容を扱います。</p>

教科名 科目名		単位数	年次・コース	選択群	教科書・出版社名	副教材・出版社名
地理歴史	日本史探究	3	2年次 普通科 スタンダード	選択A	詳説日本史 (山川出版)	新詳日本史(浜島書店) 要点整理・ゼミナール 日本史(浜島書店)

学習目標	・生徒が社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。
評価の 観点・規準	「知識・技能」 教科書の内容を理解しているか、その背景にある文化を明確に読み取ろうとしている。 教科書や資料集等から情報を正確に読み取ろうとしている。
	「思考・判断・表現」 教科書や資料を通して、自分の考えや意見をまとめようとしている。
	「主体的に学習に取り組む態度」 積極的に授業に参加しようとしている。 科目に対して、自学自習などを行おうとしている。 グループ学習等に進んで取り組もうとしている。
評価の方法	「知識・技能」 定期考査や小テスト等で適確に理解しているかを評価する。
	「思考・判断・表現」 グループ学習やディベートを通して自分の考え・意見を的確に表現することができるかを評価する。
	「主体的に学習に取り組む態度」 定期考査・小テスト・授業の質問・グループ学習の取り組み方を総合的に評価する。

学期	学習計画および内容
1 学期	<p>第Ⅰ部 原始・古代 第1章 日本文化のあけぼの ※研究として「歴史資料と原始・古代の展望」も並行する。 第2章 古墳とヤマト政権 第3章 律令国家の形成 第4章 貴族政治の展開</p> <p>旧石器時代から平安時代までを扱い、原始社会の特色及び古代国家と社会や文化の特色について、歴史的資料に基づいて、東アジア世界の動向と関連付けて考察を深める。</p>
2 学期	<p>第Ⅱ部 中世 第5章 院政と武士の躍進 ※「歴史資料と中世の展望」も並行する。 第6章 武家政権の成立 第7章 武家社会の成長</p> <p>中世国家と社会や文化の特色について、歴史的現象の推移や変化を追いながら、東アジア世界の動向と関連付けて考察する。</p>
3 学期	<p>第Ⅲ部 近世 第8章 近世の幕開け ※「歴史資料と近世の展望」も並行する。 第9章 幕藩体制の成立と展開 第10章 幕藩体制の動揺</p> <p>近世国家と社会や文化の特色について、複数の歴史的な解釈があることを踏まえて、国際環境と関連付けて考察する。</p>

備考 ・履修条件 ・注意事項 等	<p>・第Ⅳ部以降については、3年次の「日本史探究」で行う予定です。 ・2年次に「日本史探究」を選択すると、3年次に「歴史探究β」を選択することはできません。</p>
---------------------------	---

教科名 科目名		単位数	年次・コース	選択群	教科書・出版社名	副教材・出版社名
地理歴史	世界史探究	3	2年次 普通科 スタンダード	選択A	詳説世界史 (山川出版)	要点整理 ゼミナール 世界史(浜島書店) アカデミア 世界史 時代と地域の羅針盤 (浜島書店)

学習目標	<p>・世界の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。</p> <p>・歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>
評価の 観点・規準	<p>「知識・技能」 教科書の内容を理解しているか、その背景にある文化を明確に読み取ろうとしている。 教科書や資料集等から情報を正確に読み取ろうとしている。</p>
	<p>「思考・判断・表現」 教科書や資料を通して、自分の考えや意見をまとめようとしている。</p>
	<p>「主体的に学習に取り組む態度」 積極的に授業に参加しようとしている。 科目に対して、自学自習などを行おうとしている。 グループ学習等に進んで取り組もうとしている。</p>
評価の方法	<p>「知識・技能」 定期検査や小テスト等で適確に理解しているかを評価する。</p>
	<p>「思考・判断・表現」 グループ学習やディベートを通して自分の考え・意見を的確に表現することができるかを評価する。</p>
	<p>「主体的に学習に取り組む態度」 定期検査・小テスト・授業の質問・グループ学習の取り組み方を総合的に評価する。</p>

学期	学習計画および内容
1 学期	<p>第 I 部 諸地域の歴史的特質の形成 第 1 章 文明の成立と古代文明の特質 第 2 章 中央ユーラシアと東アジア世界 第 3 章 南アジア世界と東南アジア世界の展開</p> <p>原始社会の特色及び古代国家と社会や文化の特色について、歴史的資料に基づいて文明の形成過程を理解し、説明できるようになる。</p>
2 学期	<p>第 I 部 諸地域の歴史的特質の形成 第 4 章 西アジアと地中海周辺の世界形成 第 5 章 イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成第 II 部 諸地域の交流・再編 第 6 章 イスラーム教の伝播と西アジアの動向</p> <p>中世国家と社会や文化の特色について、それぞれの文化圏がどのように独自の発展を行っていったのかを地理・民族・宗教など様々な側面から考察し、理解すると共に自分の考えを論述できるようになる。</p>
3 学期	<p>第 II 部 諸地域の交流・再編 第 7 章 ヨーロッパ世界の変容と展開 第 8 章 東アジア世界の展開とモンゴル帝国</p> <p>アジア世界の発展の中に行われる様々な国家形成について、それぞれの特徴や歴史的背景を知り、繋がりをおさえる。</p>

備考 ・履修条件 ・注意事項 等	<p>・第 II 部の続き、及び III 部以降については、3 年次の「世界史探究」で行う予定です。</p> <p>・2 年次に「世界史探究」を選択すると、3 年次に「歴史探究 α」を選択することはできません。</p>
---------------------------	---

教科科目名		単位数	年次・コース	選択群	教科書・出版社名	副教材・出版社名
公民	公共	2	2年 情報ビジネス科 システム工学科	必修	詳述公共 (実教出版)	詳述公共マイノート (実教出版)

学習目標	<p>・現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。</p> <p>・現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。</p> <p>・よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。</p>
評価の観点 評価規準	<p>「知識・技能」 教科書の内容を理解しているか、その背景にある文化を明確に読み取ろうとしている。 教科書や資料集等から情報を正確に読み取ろうとしている。</p>
	<p>「思考・判断・表現」 教科書や資料を通して、自分の考えや意見をまとめようとしている。</p>
	<p>「主体的に学習に取り組む態度」 積極的に授業に参加しようとしている。 科目に対して、自学自習などを行おうとしている。 グループ学習等に進んで取り組もうとしている。</p>
評価の方法	<p>「知識・技能」 定期考査や小テスト等で適確に理解しているかを評価する。</p>
	<p>「思考・判断・表現」 グループ学習やディベートを通して自分の考え・意見を的確に表現することができるかを評価する。</p>
	<p>「主体的に学習に取り組む態度」 定期考査・小テスト・授業の質問・グループ学習の取り組み方を総合的に評価する。</p>

学期	学習計画および内容
1 学期	<p>第1編 公共の扉 第1章 社会を作る私たち 第2章 人間としてよく生きる 第3章 民主社会の倫理 第4章 民主国家における基本原理</p> <p>地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることを学ぶとともに、古今東西の先人の取組、知恵などを踏まえ、社会に参画する際の選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論などや、公共的な空間における基本的原理を理解する。</p>
2 学期	<p>第2編 よりよい社会の形成に参加する私たち 第1章 日本国憲法の基本的性格 第2章 日本の政治機構と政治参加 第3章 現代の経済社会 第4章 経済活動のあり方と国民福祉</p> <p>自立した主体としてよりよい社会の形成に参画することに向けて、現実社会の諸課題に関わる具体的な主題を設定し、人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、他者と協働して主題を追究したり解決したりする学習活動を通して、人間としての在り方生き方についての理解を深めつつ、法、政治及び経済などに関わるシステムの下で活動するために必要な知識及び技能、思考力、判断力、表現力等を身に付ける。</p>
3 学期	<p>第2編 よりよい社会の形成に参加する私たち 第5章 国際政治の動向と課題 第6章 国際経済の動向と課題 第3編 持続可能な社会づくりの主体となる私たち</p> <p>持続可能な地域、国家・社会、及び国際社会づくりに向けた役割を担う、公共の精神をもった自立した主体となることに向けて、共に生きる社会を築くという観点から課題を見いだし、社会的な見方・考え方を総合的に働かせ、現代の諸課題を探究する活動を通して、その課題の解決に向けて事実を基に協働して考察、構想し、妥当性や効果、実現可能性などを指標にして、論拠を基に自分の考えを説明、論述できるようにする。</p>

備考 ・履修条件 ・注意事項 等	<p>・公共は、理解を広げたり深めたりするために、時事問題を知っている必要があります。ニュースや新聞等で現実社会で起こっていることを常におさえるようにしてください。</p> <p>・3年次の選択「政治・経済」では、この講座の発展的な内容を扱います。</p>
---------------------------	--

教科名 科目名		単位数	年次・コース	選択群	教科書・出版社名	副教材・出版社名
地理歴史	地理探求	3	3年 普通科 プログレッシブ	選択	新詳地理探求 (帝国書院) 新詳高等地図 (帝国書院)	サクシード地理 (啓隆社) 新詳地理資料COMPLETE (帝国書院)

学習目標	<p>・世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、人間と自然環境との関係や作用を多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて、考察、構想したことを効果的に説明したり、議論する力を養う。</p> <p>・国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするこの大切についての自覚などを深める。</p>
評価の観点 評価規準	<p>「知識・技能」 教科書の内容を理解している、その背景にある文化を明確に読み取っている。 教科書や資料集等から情報を正確に読み取ろうとしている。</p>
	<p>「思考・判断・表現」 教科書や資料を通して、自分の考えや意見をまとめている。</p>
	<p>「主体的に学習に取り組む態度」 積極的に授業に参加しようとしている。 科目に対して、自学自習などを行おうとしている。 グループ学習等に進んで取り組もうとしている。</p>
評価の方法	<p>「知識・技能」 定期考査や小テスト等で適確に理解しているかを評価する。</p>
	<p>「思考・判断・表現」 グループ学習やディベートを通して自分の考え・意見を的確に表現することができているかを評価する。</p>
	<p>「主体的に学習に取り組む態度」 定期考査・小テスト・授業の質問・グループ学習の取り組み方を総合的に評価する。</p>

学期	学習計画および内容
1 学期	<p>第1部 「さまざまな地図と地理的技能」 第1章 地理情報と地図 第2章 地図の活用と地域調査</p> <p>地図や地理情報システムなどを用いて、情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身につけ、世界の生活文化や地球的諸課題について、地域の結びつきや持続可能な社会づくり、世界的視野から見た国家間の結びつきなどを多面的・多角的に考察し表現する力を身につける。</p>
2 学期	<p>第2部 「現代世界の系統地理的考察」 第1章 自然環境 第2章 資源と産業 第3章 人口、村落・集落</p> <p>現代世界の構成について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追求、解決しようとする態度や力を身につける。</p>
3 学期	<p>第3部 現代世界の地誌的考察 第1章 現代世界の地域区分 第2章 現代世界の諸地域 第3章 現代世界と日本</p> <p>系統地理で学習した内容を、現代世界の諸地域の産業や人々の生活と結びつけ世界のつながりを多面的・多角的に考察し表現する力を身につける。</p>
備考 ・履修条件 ・注意事項 等	<p>・地理は、理解を深めるために時事問題を知っている必要があります。ニュースや新聞で今社会でおこっていることを常におさえるようにしてください。作業を行うので、色ペンが必要となる場合があります。</p> <p>・3年生の選択「地理探究」では、この講座の発展的な内容を扱います。</p>

教科名 科目名		単位数	年次・コース	選択群	教科書・出版社名	副教材・出版社名
公民	政治経済	3	3年 普通科 プログレッシブ	選択F	詳述政治・経済 (実教出版)	新政治・経済ノート(啓 隆社) 最新図説 政経(浜島書 店)

学習目標	<p>・社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>・国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力を養う。</p> <p>・よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める。</p>
評価の観点 評価規準	<p>「知識・技能」 教科書の内容を理解しているか、その背景にある文化を明確に読み取ろうとしている。 教科書や資料集等から情報を正確に読み取ろうとしている。</p>
	<p>「思考・判断・表現」 教科書や資料を通して、自分の考えや意見をまとめようとしている。</p>
	<p>「主体的に学習に取り組む態度」 積極的に授業に参加しようとしている。 科目に対して、自学自習などを行おうとしている。 グループ学習等に進んで取り組もうとしている。</p>
評価の方法	<p>「知識・技能」 定期考査や小テスト等で適確に理解しているかを評価する。</p>
	<p>「思考・判断・表現」 グループ学習やディベートを通して自分の考え・意見を的確に表現することができるかを評価する。</p>
	<p>「主体的に学習に取り組む態度」 定期考査・小テスト・授業の質問・グループ学習の取り組み方を総合的に評価する。</p>

学期	学習計画および内容
1 学期	<p>第1部 第1編 現代日本の政治</p> <p>第1章 民主政治の基本原則</p> <p>第2章 日本国憲法の基本的性格</p> <p>第3章 日本の政治機構</p> <p>第4章 現代日本の政治</p>
2 学期	<p>第2編 現代日本の経済</p> <p>第1章 経済社会の変容</p> <p>第2章 現代経済のしくみ</p> <p>第3章 現代経済と福祉の向上</p> <p>第3編 現代日本における諸課題の探究</p>
3 学期	<p>第2部</p> <p>第1章 現代の国際政治</p> <p>第2章 現代の国際経済</p> <p>第3章 国際社会の諸課題の探究</p>

備考	
・履修条件 ・注意事項 等	

教科名 科目名		単位数	年次・コース	選択群	教科書・出版社名	副教材・出版社名
地理歴史	歴史探求 α	3	3年 普通科 プログレッシブ	選択	山川出版社 詳説日本史 B 改訂版 (帝国書院)	新詳日本史(浜島書店) ウィニングコンパス日本 史の整理と演習(とうほ)

学習目標	<p>・我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察させ、我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。</p> <p>・原始・古代から現代に至る歴史の展開を、同じ地理歴史科の世界史や地理との関連を一層重視して、国内外の地理的条件やアジアを含む世界的視野に立ち、政治、経済、社会、文化、国際環境など歴史を構成する要素を総合した幅広い見方で大きく把握させると同時に、各時代の国家・社会の特色や時代の変遷に関わる総合的な考察を通じて、我が国の文化がどのような特色をもち、どのような伝統が形成されてきたかについての認識を深める。</p>
評価の観点 評価規準	<p>「知識・技能」 教科書の内容を理解している、その背景にある文化を明確に読み取っている。 教科書や資料集等から情報を正確に読み取ろうとしている。</p>
	<p>「思考・判断・表現」 教科書や資料を通して、自分の考えや意見をまとめている。</p>
	<p>「主体的に学習に取り組む態度」 積極的に授業に参加しようとしている。 科目に対して、自学自習などを行おうとしている。 グループ学習等に進んで取り組もうとしている。</p>
評価の方法	<p>「知識・技能」 定期考査や小テスト等で適確に理解しているかを評価する。</p>
	<p>「思考・判断・表現」 グループ学習やディベートを通して自分の考え・意見を的確に表現することができているかを評価する。</p>
	<p>「主体的に学習に取り組む態度」 定期考査・小テスト・授業の質問・グループ学習の取り組み方を総合的に評価する。</p>

学期	学習計画および内容
1 学期	<p>第Ⅳ部 近代・現代 第9章 近代国家の成立 第10章 二つの世界大戦とアジア 明治時代から終戦までを扱い、近代国家の形成と社会や文化の特色について、また現代の社会や国民生活の特色について、国際環境と関連付けて考察し、世界の中での日本の立場について認識を深める。</p>
2 学期	<p>第Ⅳ部 近代・現代 第11章 占領下の日本 第12章 高度成長の時代 終戦から高度経済成長までを扱い、現代につながる発展と社会の特色について、国際環境と関連付けて考察し、世界の中での日本の立場について認識を深める。</p>
3 学期	<p>第Ⅳ部 近代・現代 第13章 激動する世界と日本 現代の社会や国民生活の特色について、国際環境と関連付けて考察させ、世界の中での日本の立場について認識させる。なお、この大項目における「歴史の論述」では、社会と個人、世界の中の日本、地域社会の歴史と生活について、適切な主題を設定させ、資料を活用して探究し、考えを論述する活動を通して、歴史的な見方や考え方を身に付けさせる。</p>

備考 ・履修条件 ・注意事項 等	<p>・注意事項として、2年次で使用した教科書『詳説日本史B』を継続使用します。</p> <p>・2年次での日本史全般の理解の上に立って学習します。その上でより詳細な知識・理解を獲得し、基本的な史・資料の解釈や活用ができることめざします。さらには各人が歴史に対して興味・関心を持ち、国際社会を生きるうえで必要な自国の歴史に対する正確な認識を身につけられるよう取り組んで下さい。</p>
---------------------------	--

教科名 科目名		単位数	年次・コース	選択群	教科書・出版社名	副教材・出版社名
地理歴史	歴史探究 β	3	3年 普通科 プログレッシブ	選択	詳説世界史 (山川出版)	アカデミア世界史(浜島書店) ウィニングコンパス世界史の整理と演習(とうほ)

学習目標	<ul style="list-style-type: none"> 世界の歴史の展開に関わる諸事象を、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。 歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象と、よりよい社会の実現を視野に入れて地球規模の課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的に考察することで得られる深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
評価の観点 評価規準	「知識・技能」 教科書の内容を理解しているか、その背景にある文化を明確に読み取ろうとしている。 教科書や資料集等から情報を正確に読み取ろうとしている。
	「思考・判断・表現」 教科書や資料を通して、自分の考えや意見をまとめようとしている。
	「主体的に学習に取り組む態度」 積極的に授業に参加しようとしている。 科目に対して、自学自習などを行おうとしている。 グループ学習等に進んで取り組もうとしている。
評価の方法	「知識・技能」 定期考査や小テスト等で適確に理解しているかを評価する。
	「思考・判断・表現」 グループ学習やディベートを通して自分の考え・意見を的確に表現することができるかを評価する。
	「主体的に学習に取り組む態度」 定期考査・小テスト・授業の質問・グループ学習の取り組み方を総合的に評価する。

学期	学習計画および内容
1 学期	第Ⅱ部 諸地域の交流・再編 第9章 大交易・大交流の時代 第10章 アジアの諸帝国の繁栄 第11章 近世ヨーロッパ世界の動向 地球規模の交流・交易の拡大がもたらしたアジア諸地域の繁栄とヨーロッパ諸国の海外進出やその内部変革により始まった「世界の一体化」について諸資料を活用して考察する。
2 学期	第Ⅲ部 諸地域の結合・変容 第12章 産業革命と環大西洋革命 第13章 イギリスの優位と欧米国民国家の形成 第14章 アジア諸地域の動揺 第15章 帝国主義とアジアの民族運動 第16章 第一次世界大戦と世界の変容 第17章 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成
3 学期	第Ⅳ部 地球世界の課題 第18章 冷戦と第三世界の台頭 第19章 冷戦の終結と今日の世界 冷戦とその終結後に頻発した地域紛争や民族対立、様々なかたちで深刻化する経済格差や科学技術の高度化を背景として形成された地球規模の課題について諸資料を活用して考察し、自分の考えを論述できるようにする。
備考 ・履修条件 ・注意事項 等	2年次に使用した『詳説世界史』を継続して使用する。問題演習も行うので、積極的に参加する姿勢が必要になる。

教科名 科目名		単位数	年次・コース	選択群	教科書・出版社名	副教材・出版社名
地理歴史	地理探求	3	3年 普通科 スタンダード	選択	新詳地理探求 (帝国書院) 新詳高等地図 (帝国書院)	新詳地理資料COMPLETE 新詳地理探究演習ノート (帝国書院)

学習目標	<p>・世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、人間と自然環境との関係や作用を多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて、考察、構想したことを効果的に説明したり、議論する力を養う。</p> <p>・国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするこの大切についての自覚などを深める。</p>
評価の観点 評価規準	<p>「知識・技能」 教科書の内容を理解している、その背景にある文化を明確に読み取っている。 教科書や資料集等から情報を正確に読み取ろうとしている。</p>
	<p>「思考・判断・表現」 教科書や資料を通して、自分の考えや意見をまとめている。</p>
	<p>「主体的に学習に取り組む態度」 積極的に授業に参加しようとしている。 科目に対して、自学自習などを行おうとしている。 グループ学習等に進んで取り組もうとしている。</p>
評価の方法	<p>「知識・技能」 定期考査や小テスト等で適確に理解しているかを評価する。</p>
	<p>「思考・判断・表現」 グループ学習やディベートを通して自分の考え・意見を的確に表現することができているかを評価する。</p>
	<p>「主体的に学習に取り組む態度」 定期考査・小テスト・授業の質問・グループ学習の取り組み方を総合的に評価する。</p>

学期	学習計画および内容
1 学期	<p>第1部 「さまざまな地図と地理的技能」 第1章 地理情報と地図 第2章 地図の活用と地域調査</p> <p>地図や地理情報システムなどを用いて、情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身につけ、世界の生活文化や地球的諸課題について、地域の結びつきや持続可能な社会づくり、世界的視野から見た国家間の結びつきなどを多面的・多角的に考察し表現する力を身につける。</p>
2 学期	<p>第2部 「現代世界の系統地理的考察」 第1章 自然環境 第2章 資源と産業 第3章 人口、村落・集落</p> <p>現代世界の構成について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追求、解決しようとする態度や力を身につける。</p>
3 学期	<p>第3部 現代世界の地誌的考察 第1章 現代世界の地域区分 第2章 現代世界の諸地域 第3章 現代世界と日本</p> <p>系統地理で学習した内容を、現代世界の諸地域の産業や人々の生活と結びつけ世界のつながりを多面的・多角的に考察し表現する力を身につける。</p>
備考 ・履修条件 ・注意事項 等	<p>・地理は、理解を深めるために時事問題を知っている必要があります。ニュースや新聞で今社会でおこっていることを常におさえるようにしてください。作業を行うので、色ペンが必要となる場合があります。</p> <p>・3年生の選択「地理探究」では、この講座の発展的な内容を扱います。</p>

教科名 科目名		単位数	年次・コース	選択群	教科書・出版社名	副教材・出版社名
公民	政治経済	3	3年 普通科 スタンダード	選択F	詳述政治・経済 (実教出版)	詳述政治・経済 演習ノート (実教出版) 最新図説 政経(浜島書店)

学習目標	<p>・社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>・国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力を養う。</p> <p>・よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める。</p>
評価の観点 評価規準	<p>「知識・技能」 教科書の内容を理解しているか、その背景にある文化を明確に読み取ろうとしている。 教科書や資料集等から情報を正確に読み取ろうとしている。</p>
	<p>「思考・判断・表現」 教科書や資料を通して、自分の考えや意見をまとめようとしている。</p>
	<p>「主体的に学習に取り組む態度」 積極的に授業に参加しようとしている。 科目に対して、自学自習などを行おうとしている。 グループ学習等に進んで取り組もうとしている。</p>
評価の方法	<p>「知識・技能」 定期考査や小テスト等で適確に理解しているかを評価する。</p>
	<p>「思考・判断・表現」 グループ学習やディベートを通して自分の考え・意見を的確に表現することができているかを評価する。</p>
	<p>「主体的に学習に取り組む態度」 定期考査・小テスト・授業の質問・グループ学習の取り組み方を総合的に評価する。</p>

学期	学習計画および内容
1 学期	第1部 第1編 現代日本の政治 第1章 民主政治の基本原則 第2章 日本国憲法の基本的性格 第3章 日本の政治機構 第4章 現代日本の政治
2 学期	第2編 現代日本の経済 第1章 経済社会の変容 第2章 現代経済のしくみ 第3章 現代経済と福祉の向上 第3編 現代日本における諸課題の探究
3 学期	第2部 第1章 現代の国際政治 第2章 現代の国際経済 第3章 国際社会の諸課題の探究

備考 ・履修条件 ・注意事項 等	
---------------------------	--

教科名 科目名		単位数	年次・コース	選択群	教科書・出版社名	副教材・出版社名
地理歴史	歴史探求 α	3	3年 普通科 スタンダード	選択	山川出版社 詳説日本史 B 改訂版 (帝国書院)	新詳日本史(浜島書店) 要点整理 ゼミナール 日本史(浜島書店)

学習目標	<p>・我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察させ、我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。</p> <p>・原始・古代から現代に至る歴史の展開を、同じ地理歴史科の世界史や地理との関連を一層重視して、国内外の地理的条件やアジアを含む世界的視野に立ち、政治、経済、社会、文化、国際環境など歴史を構成する要素を総合した幅広い見方で大きく把握させると同時に、各時代の国家・社会の特色や時代の変遷に関わる総合的な考察を通じて、我が国の文化がどのような特色をもち、どのような伝統が形成されてきたかについての認識を深める。</p>
評価の観点 評価規準	<p>「知識・技能」 教科書の内容を理解している、その背景にある文化を明確に読み取っている。 教科書や資料集等から情報を正確に読み取ろうとしている。</p>
	<p>「思考・判断・表現」 教科書や資料を通して、自分の考えや意見をまとめている。</p>
	<p>「主体的に学習に取り組む態度」 積極的に授業に参加しようとしている。 科目に対して、自学自習などを行おうとしている。 グループ学習等に進んで取り組もうとしている。</p>
評価の方法	<p>「知識・技能」 定期考査や小テスト等で適確に理解しているかを評価する。</p>
	<p>「思考・判断・表現」 グループ学習やディベートを通して自分の考え・意見を的確に表現することができるかを評価する。</p>
	<p>「主体的に学習に取り組む態度」 定期考査・小テスト・授業の質問・グループ学習の取り組み方を総合的に評価する。</p>

学期	学習計画および内容
1 学期	<p>第IV部 近代・現代 第9章 近代国家の成立 第10章 二つの世界大戦とアジア 明治時代から終戦までを扱い、近代国家の形成と社会や文化の特色について、また現代の社会や国民生活の特色について、国際環境と関連付けて考察し、世界の中での日本の立場について認識を深める。</p>
2 学期	<p>第IV部 近代・現代 第11章 占領下の日本 第12章 高度成長の時代 終戦から高度経済成長までを扱い、現代につながる発展と社会の特色について、国際環境と関連付けて考察し、世界の中での日本の立場について認識を深める。</p>
3 学期	<p>第IV部 近代・現代 第13章 激動する世界と日本 現代の社会や国民生活の特色について、国際環境と関連付けて考察させ、世界の中での日本の立場について認識させる。なお、この大項目における「歴史の論述」では、社会と個人、世界の中の日本、地域社会の歴史と生活について、適切な主題を設定させ、資料を活用して探究し、考えを論述する活動を通して、歴史的な見方や考え方を身に付けさせる。</p>

備考 ・履修条件 ・注意事項 等	<p>・注意事項として、2年次で使用した教科書『詳説日本史B』を継続使用します。</p> <p>・2年次での日本史全般の理解の上に立って学習します。その上でより詳細な知識・理解を獲得し、基本的な史・資料の解釈や活用ができることめざします。さらには各人が歴史に対して興味・関心を持ち、国際社会を生きるうえで必要な自国の歴史に対する正確な認識を身に付けられるよう取り組んで下さい。</p>
---------------------------	--

教科名 科目名		単位数	年次・コース	選択群	教科書・出版社名	副教材・出版社名
地理歴史	歴史探求 β	3	3年 普通科 スタンダード	選択	詳説世界史 (山川出版)	新詳日本史(浜島書店) 要点整理 ゼミナール 世界史(浜島書店)

学習目標	<p>・世界の歴史の展開に関わる諸事象を、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。</p> <p>・歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。</p> <p>・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象と、よりよい社会の実現を視野に入れて地球規模の課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的に考察することで得られる深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>
評価の観点 評価規準	<p>「知識・技能」 教科書の内容を理解しているか、その背景にある文化を明確に読み取ろうとしている。 教科書や資料集等から情報を正確に読み取ろうとしている。</p>
	<p>「思考・判断・表現」 教科書や資料を通して、自分の考えや意見をまとめようとしている。</p>
	<p>「主体的に学習に取り組む態度」 積極的に授業に参加しようとしている。 科目に対して、自学自習などを行おうとしている。 グループ学習等に進んで取り組もうとしている。</p>
評価の方法	<p>「知識・技能」 定期考査や小テスト等で適確に理解しているかを評価する。</p>
	<p>「思考・判断・表現」 グループ学習やディベートを通して自分の考え・意見を的確に表現することができるかを評価する。</p>
	<p>「主体的に学習に取り組む態度」 定期考査・小テスト・授業の質問・グループ学習の取り組み方を総合的に評価する。</p>

学期	学習計画および内容
1 学期	<p>第Ⅱ部 諸地域の交流・再編 第9章 大交易・大交流の時代 第10章 アジアの諸帝国の繁栄 第11章 近世ヨーロッパ世界の動向 地球規模の交流・交易の拡大がもたらしたアジア諸地域の繁栄とヨーロッパ諸国の海外進出やその内部変革により始まった「世界の一体化」について諸資料を活用して考察する。</p>
2 学期	<p>第Ⅲ部 諸地域の結合・変容 第12章 産業革命と環大西洋革命 第13章 イギリスの優位と欧米国民国家の形成 第14章 アジア諸地域の動揺 第15章 帝国主義とアジアの民族運動 第16章 第一次世界大戦と世界の変容 第17章 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成</p>
3 学期	<p>第Ⅳ部 地球世界の課題 第18章 冷戦と第三世界の台頭 第19章 冷戦の終結と今日の世界 冷戦とその終結後に頻発した地域紛争や民族対立、様々なかたちで深刻化する経済格差や科学技術の高度化を背景として形成された地球規模の課題について諸資料を活用して考察し、自分の考えを論述できるようにする。</p>

備考 ・履修条件 ・注意事項 等	2年次に使用した『詳説世界史』を継続使用します。問題演習も行いますので、積極的に参加する姿勢が必要になります。
---------------------------	---

教科・科目名	単位数	年次・コース	選択群	教科書・出版社名	副教材・出版社名
公民 社会教養	2	3年 普通科 スタンダード	選択H		ニュース検定公式テキスト 「時事力」発展編 (毎日新聞社)

学習目標	政治、経済、暮らし、社会・環境、国際関係など、これからの日本社会を生きていくうえで必要な、時事的な知識の獲得を目指し、現代社会を多角的な視点で考察する。
評価の観点 評価規準	①政治に関するニュースを読み解き、国内外の情勢について、考える。 ②経済に関するニュースを読み解き、国内外の情勢について考える。 ③年金問題など私たちの暮らしに直結するニュースを読み解く。 ④SDGsや情報社会の生き方など、私たちを取り巻く環境に関するニュースを読み解く。 ⑤地域紛争、国際平和に関するニュースを読み解く。
評価の 観点・規準	「知識・理解」…教科書や資料の内容を的確に理解している。ニュースの背景や文化を明確に読み取ることができる。 「思考・判断・表現」…教科書や資料を参考にして、自分の考えや意見をまとめることができる。 「資料活用の技能」…教科書や資料集等から情報を正確に読み取ることができる。 「関心・意欲・態度」…積極的に授業に参加している。科目に対して、自学学習などを行っている。また、グループ学習等に進んで取り組んでいる。
評価の方法	「知識・理解」…定期考査や小テスト等で適確に理解しているかを評価する。 「思考・判断・表現」…グループ学習やディベートを通して自分の考え・意見を的確に表現することができるかを評価する。 「資料活用の技能」…レポートの提出等を通して情報を正確に読み取ることができているかを評価する。 「関心・意欲・態度」…定期考査・小テスト・授業の質問、グループ学習への取り組み態度等を総合的にみて評価する。

学期	内容
1 学期	●日本国憲法と民主政治 国会・内閣・裁判所/地方自治と地域社会/平和主義と安全保障
2 学期	●現代の経済社会と国民福祉 技術革新と産業社会の変化/国民所得と経済成長/財政と財政制度/金融の役割/変化する日本経済/現代の雇用・労働問題/社会保障の役割
3 学期	●現代の社会生活と青年 情報化の進展と生活/国際化の中の人間・少子/高齢化社会を迎えて/生きがいと進路の創造
	●現代に生きる私たちの課題 地球環境と私たちの未来/資源・エネルギー問題/科学技術の発達と生命/豊かな社会と福祉社会
	●国際社会と人類の課題 国境を越える経済/環境・人口・食糧問題/国際社会と戦後の動き/核兵器と軍縮/民族問題と紛争/地球人として

備考 ・講座の特色 ・履修条件 ・注意事項 等	今、社会で起きていることを知り、幅広い教養を身につけることができる。
-------------------------------------	------------------------------------

教科名 科目名		単位数	年次・コース	選択群	教科書・出版社名	副教材・出版社名
地理歴史	歴史総合	2	3年 情報ビジネス科 システム工学科	必修	高等学校 新歴史総合 過去との対話、つなぐ未来 (第一学習社)	新歴史総合ノート(第一 学習社)

学習目標	<p>・近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野からとらえ、現代的な諸課題の形成に関わる新現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。</p> <p>・近現代の歴史の変化に関わる諸事情について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多角的な考察や深い理解を通して養われる日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>
評価の観点 評価規準	「知識・技能」 教科書などの諸資料の内容を理解している。
	「思考・判断・表現」 教科書や資料を通して、自分の考えや意見をまとめている。
	「主体的に学習に取り組む態度」 授業で問われる課題を主体的に考えて発表することができ、他者の意見を聞いて自分の意見と共通点や相違点を比較することができる。
評価の方法	「知識・技能」 定期考査や小テスト等的確に理解しているかを評価する。
	「思考・判断・表現」 グループ学習やディベートを通して自分の考え・意見を的確に表現することができているかを評価する。
	「主体的に学習に取り組む態度」 定期考査・小テスト・授業の質問・グループ学習の取り組み方を総合的に評価する。

学期	学習計画および内容
1 学期	<p>「歴史の扉」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習を始めるにあたり、私たちの身近にあるものに世界の歴史との関わりがあることに気付く。 ・いくつかの資料を見て、それらに含まれる様々な情報をもとに歴史について考えることの重要性に気付く。 <p>第1章 近代化と私たち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近代までの歴史の流れを説明し、近代になるまでにどのような段階を進んでいたのかを理解する。 ・日本が近代化することになった影響を理解する。 <p>第2章 国際秩序の変化や大衆化と私たち</p> <p>1 第一次世界大戦と大衆社会 ①～⑤</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第一次世界大戦によって世界が変化した点、また変化しなかった点を理解する。 ・第一次世界大戦によって日本が国際社会でどのような立ち位置になったのかを考察する。
2 学期	<p>第2章 国際秩序の変化や大衆化と私たち</p> <p>1 第一次世界大戦とその後の世界 ⑥～2 経済危機と第二次世界大戦 ⑤</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第一次世界大戦の戦後処理により第二次世界大戦が起こったのかを理解する。 ・第二次世界大戦が現代の世界にどのような影響を与えたのかを考察する。 <p>第2章 国際秩序の変化や大衆化と私たち 2 経済危機と第二次世界大戦 ⑥～</p> <p>第3章 グローバル化と私たち 1 冷戦と脱植民地化・第三世界の台頭</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第二次世界大戦後に世界がどのようになったのかを理解する。 ・冷戦が現在の世界にどのような影響を与えたのかを考察する。
3 学期	<p>第3章 グローバル化と私たち 2 世界秩序の変容と日本</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代の諸問題の原因を理解する。 ・世界の諸問題についてディベートさせて、それぞれの立場を理解する。

備考 ・履修条件 ・注意事項 等	近代以降の歴史を現代社会との関わりを中心に学習する。教科書・ノート・プリントを毎時間忘れずに準備すること。
---------------------------	---